

スポーツを地域活性化の 起爆剤に

「それぞれの地域に合った
「スポーツマネジメント」を追究

「スポーツにかかわることです
せになる人が増えてほしい」と、
スポーツマネジメントに関する研
究に取り組み柳久恒講師。自らも
学生時代に長くバスケットボール
に没頭した経験を持ち、「するス
ポーツ」「観るスポーツ」「支え
るスポーツ」を通じて地域活性化
に強い関心を持っています。
その具体的な研究テーマの一つ

神戸学院大学 経営学部講師
柳久恒
Hisatsune Yanagi



が「スポーツコミッションの可能
性」。スポーツコミッションとは
スポーツを地域活性化の資源とし
てとらえ、スポーツ大会やイベン
トなどを誘致・開催しようとする
組織のこと。「他の国や地域から
人（選手や観戦者など）を招くだ
けでなく、地域の人たちにより多
くのスポーツの機会を提供する、
つまり『人とスポーツをつなぐ』
ために何が必要かを研究していま
す」。2011年には、本格的ス
ポーツコミッションである「さい
たまスポーツコミッション」が、
さいたま市に誕生。「神戸学院大
学が立地する関西でも、一般社団
法人関西経済同友会が、地域の実
情に合った活動内容や
組織形態について研究
を続けているよう
です」

が大会に出場するため現地に入
る、ファンなどが試合を観に行
く、あるいはスポーツ大会を支え
るボランティアなどが現地で宿
泊、飲食すると、地域にお金が落
ち経済が活性化します。しかしそ
のようなスポーツツーリズムを推
進するには、たとえば、さまざま
なプロスポーツのキャンプ地とな
っている宮崎県のように整備して
いく必要があります。どのような
環境が求められ、その環境をどう
ターゲットとなる人たちに発信し
ていけば良いのかを調査してい
きます」

災害からの復興における プロスポーツの役割を調査

また、それらの研究を基盤とし
て今年4月から3カ年計画で取り
組むのが、科学研究費補助金の申
請が採択された「震災復興とスポ
ーツ／プロスポーツの価値とスポ
ーツツーリズム」という新規テー
マ。「メディアでも報道されてい
たように、震災後、プロスポーツ
団体や選手がスポーツ指導や交流
を通じて被災者を元気づけようと
した活動事例が多くあります。特
に東日本震災で被災した地域の
プロスポーツが地元で果たしてき
た役割や効果などを調べ、災害か
らの復興におけるプロスポーツの
意味や価値を明らかにしたいと考
えています」

柳講師がこれらの研究の目的と
しているのは、スポーツが「地域
活性化の起爆剤」になりうるとい
う認識を広めること。「スポーツ
立国の実現を謳ったスポーツ基本
法（11年8月施行）に基づき、今
年3月、スポーツ基本計画（文部
科学省）が策定されました。国
民の間でも、ランニングなどがブ
ームになり、7月にはロンドン五
輪が開催されるなど、スポーツに
対する関心が高まっている今が、
スポーツ振興にとって非常に重要
な時期です。スポーツコミッショ
ンやスポーツツーリズムに関する
私の研究が、地域の活性化だけ
でなく、子どもも含むすべての日
本人の心身の健康維持や増進に役
立てていただけるよう、取り組ん
でいきたいと思っています」



元気なパワーを未来のために

神戸学院大学

法学部 経済学部 経営学部 人文学部 総合文化センター 栄養学部 薬学部 大学院

有瀬キャンパス 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518 Tel.078-974-1551(代)
ポートアイランドキャンパス 〒650-8586 神戸市中央区港島1-1-3 Tel.078-974-1551(代)
長田キャンパス(法科大学院) 〒653-0862 神戸市長田区西山町2-3-3 Tel.078-691-4888(代)

100
KOBE GAKUIN SINCE 1912

学校法人神戸学院は
2012年に100周年を迎えました。